

政府プロジェクト「ビジョナリー経営2021」に朝日生命が選出されました
～国籍にとらわれない新しい経営手法に取り組む企業として、
高度外国人IT人材雇用を促進～

朝日生命保険相互会社（代表取締役社長：木村 博紀、以下「当社」）は、内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が推進し、一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）より受託した全研本社株式会社が政府プロジェクトとして進める「ビジョナリー経営2021」の対象企業として選出されましたのでお知らせします。

◆**ビジョナリー経営2021とは**

国籍にとらわれずに優秀な才能を組織に取り入れていく高度外国人IT人材雇用という新しい経営手法に取り組む企業を日本全国から約100社選出し、その経営者への取材・インタビュー内容を動画やe-bookなどに仕上げ公開することで、人材受け入れのノウハウや効果などを広く共有していくことを目的とした政府プロジェクトです。その狙いは日本の技術力向上と日本経済の活性化、そしてその実現のための高度外国人人材雇用の拡大にあります。

国籍、日本語能力にこだわることなく、より幅広く優秀な人材雇用を進める企業をさまざまな地域、業種、企業規模から選出し、経営者の考え方や、取り組む理由、メリットやデメリット、具体的にどのように進めたのかなどを事例としてまとめあげて公開し、同じような指針を持って多様な人材による組織作りを考える多くの企業の参考としてもらうことを目指しています。



当社はこれまで、海外市場開拓のための調査・分析、ベトナムでの事業展開を受け、さらなる事業拡大のための人材育成を目的として外国人インターンを積極的に受け入れ、さらには正社員として採用してまいりました。その取り組みが評価され、このたび「ビジョナリー経営2021」として選出される運びとなりました。

当社は、今後も新たな成長領域への挑戦として、アジアを中心とした有望な海外市場の開拓に向けて、優秀な外国人の雇用を通じて、事業拡大に取り組んでまいります。

「ビジョナリー経営2021」公式サイト：（ <https://tebiki-jp.com/> ）

※このプロジェクトサイトは内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が推進し、一般社団法人情報サービス産業協会JISA（ <https://www.jisa.or.jp/> ）および全研本社株式会社（ <https://zenken-diversity.jp/> ）が事務局として運営を行っています。